

教科・科目		対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
芸術・美術 I		1 年	2	高校生の美術 1 (日本文教出版)	各種プリント
科目の概要と目標		<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>			
授業の進め方		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心・能力等をふまえて題材を設定し、意欲的に学習に取り組めるようにする。 生徒個々の制作に対する思いや考えをくみ取るため、課題設定の意図や概要を十分に解説しながらコミュニケーションを図る。 発想や表現の幅を広げるため、題材に関連する作品や資料等をできる限り提示する。 			
評価の観点と方法		<p>① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品 ワークシート、鑑賞レポートなどの提出物 制作態度 などを含め総合的に評価する。 			
学年	学期	単元・学習項目		学習内容・到達度目標	
年 間 の 授 業 内 容	1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ○「静物画」 <ul style="list-style-type: none"> ・デッサン ・油彩 ○日本の伝統色と文様 <ul style="list-style-type: none"> ・色の混色 ・日本の伝統色 ・日本の文様 		<ul style="list-style-type: none"> 作品の多様な表現に関心をもち、意欲的に美しさを味わおうとする。 基礎的な物の見方を理解し対象をよく見て、描くことの楽しさを味わおうとする。 明暗表現の基本を知り実践することができる。 色の三要素を理解することができる。 日本の伝統色に関心を持ち、その色を作ることができる。 日本の文様に関心を持ち、切り絵等で制作することができる。 	
	2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○版画（コラグラフ） <ul style="list-style-type: none"> ・素材の貼り付け ・インク付け ・プレスローラー機で刷る ○美術鑑賞 ○デザイン <ul style="list-style-type: none"> ・架空生物の表現 		<ul style="list-style-type: none"> コラージュ技法を応用し、様々な素材の特徴を生かして独創的な版をつくる。 テーマをもとに異素材を組み合わせて構成し台紙に貼り付けることができる。 油性インクをたんぼやペインティングナイフなどを使用して付けることができる。 均等な力がかかるよう一定の速さでプレスローラー機を回すことができる。 教科書、スライドを通して、西洋・日本・アジアの作品を鑑賞し、時代背景を含め作品に興味・関心を持つことができる。 伝説や神話の世界の生き物が描かれた作品を鑑賞し、架空の静物のキーホルダーを制作することができる。 	
	3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○「名画の模写」 <ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞 ・下描き ・着色 ・相互鑑賞 		<ul style="list-style-type: none"> 好きな作品、気になる作品、知っている作品など様々な理由を元に、教科書に掲載されている作品から1点選んで、模写をする。 各時代の作品に興味関心を持って取り組むことができる。 時代背景を調べ作品ができた状況を知ることができる。 色味や筆遣いなど作品の状態をつぶさに鑑賞し模写していくことができる。 相互鑑賞し、作品のよさを味わうことができる。 	